

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積 ha	出荷見込み		9月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況	
						期間 (ピーク)	出荷総数		上旬	中旬			下旬
							千本 (前年比)	千本 (前年比)					
バラ	茨城	施設	サムライ アバランチ ピンクワルツ等	周年	-	-	-	30	30	40	古河市 石岡市等	・生育は平年並み。 ・大きな影響はないが、改植などにより出荷量が微減している産地が一部あり(古河)。 ・病害虫の影響は特になし。	
	群馬	施設	アヴァランチ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	10.2 (96%)	847 (98%)	542 (98%)	33	33	33	前橋市 富岡市 昭和村	梅雨明け後の気温の上昇に伴い、到花日数が短くなりやや小花傾向が見られるが、生育は順調である。高温対策として、夜冷や遮光を行っている。出荷量は平年並みを見込む。	
	静岡	周年	サムライ オール4ラブ ベイブ シンディ	周年 (4~6月)	1.3 (96%)	750 (100%)	550 (100%)	30	30	40	JA掛川市 JAしみず JA大井川 JA静岡市	猛暑の影響を受け階級発生悪く下位階級中心の出荷状況。引き続きこの影響は続く見込みで、中旬以降回復するか。夏休みをしていた生産者も再開し始めており、中旬以降増加を見込む。	
	愛知	周年	サムライ08 アヴァランチ系 ゴールドラッシュ フレアー 他	4-3月		1,750 (97%)	730 (100%)	35	30	35	ひまわり 西三河 愛知みなみ 豊橋	・産地によっては殆ど出荷のない産地もあり、現状は数量が少ない状況が続いている。 ・9月中旬頃までは、数量が少ない状況が続くが、下旬にかけて徐々に増えてくる見込み。 10月中旬頃までは50cm以下の出荷割合が多い見込み。	
アルストロメリア	青森	周年	オルガ アルー ピンクサプライズ	周年 (5~8月)	2.01 (105%)	1,044 (107%)	763 (107%)	50	30	20	藤崎町	7月の高温続きにより生育は前進傾向で、7月中旬にピークを迎えた。8月は、ピークを過ぎたことに加え、大雨の被害は少なからずあり、平年よりも少ない出荷数量となった。今後についても不安定な天候が続く予報から、9月上旬は平年より少ない出荷数量となる見込み。	
トルコギキョウ	青森		ホクトセイ ボヤージュ ロジーナ	6月~11月 (9月)	4.80 (100%)	862 (105%)	566 (105%)	40	30	30	つがる市 田舎館村 八戸市	【津軽地区】大雨により、盆用については平年よりも少ない出荷数量となった。8月末~9月上旬に彼岸向けの出荷が増加予定だが、ハウス内の冠水被害もあり、今後の出荷量は大きくは増えない見込み。 【県南地区】盆向けについては、前進だったものの、ほぼ需要期に出荷できた。彼岸向けは8月下旬から徐々に増え始めるが、天候が悪く、ブラインド、間延びなどの発生が予測される。生育の遅れなどはまだ見られていない。	
	長野	夏秋	ハピネスホワイト クラリスピンク コレゾシリーズ レイナシリーズ	5~11月 (8/上・9/中)		1,900 (102%)	600 (100%)	40	35	25	信州諏訪 上伊那 中野市 信州うえだ	カーネーション同様に2週間程度、生育進んでいる。8月中旬より、彼岸向け作型の出荷がスタートしており、天候次第では今後の数量確保に影響が出てくる可能性あり。	
	熊本	施設	ミヨシ系 サカタ系 八江系など	周年	夏秋 13.41ha 冬春 未 (105%)	316 (104%)	11 (104%)	10	56	34	熊本市 菊池 やつしろ くま など	R4年産の面積は増加。生産者数は前年並み。定植は早いところで7/30より開始。定植のピークは、8月中旬頃。出荷は、10月上旬より開始。苗の生育は現時点で問題なし。一部地域では、生産経費(暖房代等)削減のため昨年より前倒し出荷となることが想定される。病害虫の被害は特になし。	
りんどう	秋田		・ながの極早生 ・しなの早生 ・あきたの青 ・しなの3号	6月-11月 7-9月	1593 (94%)	3,495 (112%)	1398 (71%)	50	40	10	あきた白神 秋田しんせい 秋田おぼこ	雨が続き、日照不足になっている影響から生育は平年並み~少々遅れで見込んでいる。遅れから彼岸後半に量がまとまると見込んでいる。	

花きの市場別販売概況(9月見通し)

令和4年8月31日現在  
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	日本全国高温の為、上位等級の発生率が非常に少なく、特にSPバラは下位等級が多め。例年以上に、国内の商品はボリューム不足感あり。輸入品は為替の影響を受け、入荷が少ない状況が続いた。安価なインド産やウガンダ産が特に販売単価が合わず少なかった(大田)。山形、栃木、神奈川、静岡等、暑さの影響で下位多く弱保合相場。上位は品薄で安定相場(FAJ)。出荷は山形産中心となっているが、入荷が安定しないため相場も不安定(第一花き)。暑さの影響で長さのある花が少なく、本数もやや少ない為、例年に比べて強保合。業務の動きある。(世田谷)。6月下旬からの急な気温上昇により、各産地上位等級の発生が少なく、下位等級の比率が高い(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	高冷地主体の取引きになる。山形、宮城など高冷地の夜温の下がり方次第ではあるが、ボリュームが増してくる。西南暖地は9月後半から品質が安定してくる見込み。輸入品は為替次第ではあるが、少ない見込み。
		FAJ	山形、群馬、神奈川、愛知等。暖地産地が開始も下位等級中心。敬老の日に向けた動きがメインの予想。
		第一花き	愛知産の出荷が増えてくるので、敬老の日・ブライダルなどの需要に期待。
		世田谷花き	業務の強い動きが8月末からあり、そのまま敬老の日中心の需要に期待が持てる。暑さが続けば、秀品率も落ち、入荷も少なそう。
		東日本板橋花き	引き続き入荷の仕方は同じ見込み。
アルストロメリア	現状	愛知・長野は高温が続いた為、花が焼け、大きく出荷量減少。北海道・青森についても、7月に数量切れた分、出荷量はやや減少した。需要に対して、月を通して品薄での販売となった(大田)。山形、長野等より。需要期向け入荷ややずれるもしっかりした販売続いた(FAJ)。山形からの出荷がメインだが、全体量は少なく安定販売が続いている(第一花き)。例年通り少ないが、引き合い強く、常に足りない。月通して状況変わらず(世田谷)。愛知・青森・北海道中心の入荷。昨年より少ない入荷量(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	各産地、天候の落ち着きと共に数量は徐々に増加していく。新植も少しずつ出荷が始まり、新たな品種等も増えていく。山形は8月上旬の集中豪雨の影響もあり、増加するタイミングが例年よりも遅れる。
		FAJ	山形、長野、岩手より入荷予定。平年並みの数量見込みも残暑予想もあり天候次第。彼岸、婚礼需要。
		第一花き	9月についても増える見込みはなく、業務需要中心に引き合いは続く。
		世田谷花き	中下旬に向けて微増。業務中心に引き合い続く。
		東日本板橋花き	愛知・青森・北海道中心の入荷。昨年並みの出荷量の予定だが天候次第で入荷増減あり。
トルコギキョウ	現状	7月の曇天の影響から若干生育が遅れたものの、お盆需要期に合い、引き合いが上がるタイミングで数量増となった。白、ラベンダー、ピンク中心に引き合いが強く、高値で推移した(大田)。山形、福島、長野、秋田等。需要に対してやや少ない数量。高値も出ないが底値も出にくい状況(FAJ)。福島産中心の入荷だが、数量が少なく安定販売が続いている(第一花き)。北海道・山形・秋田など天候不順で、生育不良。品薄状態続く(世田谷)。やや前進気味となり色目によって増減が激しい(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	各産地順調な生育となり、際立って前進開花とはなっていない。北海道、東北、福島、長野中心に作付けは多く、上旬から徐々に纏まり、中・下旬にピークを迎える。
		FAJ	北海道、秋田、山形、福島等。例年並みの数量見込も天候による。上位等級は婚礼需要次第。
		第一花き	彼岸、敬老の日と引き合い続きそう。
		世田谷花き	婚礼等の需要はあるが、8月の天候不順の影響をひきずる。
		東日本板橋花き	8月の天候不順の影響で上位等級が少ない見込み。
りんどう	現状	昨年は東北全県で大幅に前進したが、今年はやや遅れ気味の開花推移。概ね納品ピークの8日には、岩手は固めの切り前での出荷に切り替え、何とか事前の納めは見通しが立った。一部お盆需要に間に合わない系統、地域もあった為、下旬は厳しい相場展開(大田)。岩手、秋田中心に入荷 12日までまとまったロットの入荷 切り遅れもあり盆需要以降弱保合相場(FAJ)。盆需要で引き合い強く、上旬から相場強いが、終われば相場下がる。下旬入荷少ない(世田谷)。	
	見通し	大田花き	昨年に比べ秋品種がやや遅れ気味の推移となるため、特にピンク系の需要が高まる敬老の日に向けての納めも慎重に進めたい。紫系統品も高温で抑制がかかる可能性ある為、切り前を変えたり、前倒し納品等でお彼岸に向け対応にあたる。
		FAJ	岩手、秋田中心に山形、福島等。彼岸需要に向けた入荷予定も前半は弱保合相場となる見込み。
		世田谷花き	笹・深山リンドウ等晩生種スタート。彼岸の引き合い強く、相場持ち上がる。